

そうろうかく 滄浪閣の時代

10月24日(土)～12月6日(日)



▲滄浪閣の日本館(明治時代後期)



▲生誕地(山口県光市)に建つ銅像

初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文が、明治42年(1909)10月26日にハルビンで狙撃されて没してから、今年で100年を迎えます。

伊藤博文は、明治29年に別邸・滄浪閣を小田原から大磯へ移し、さらに翌30年には本籍を東京の本邸から大磯へ移して大磯町民となりました。日本の立憲体制の生みの親として明治憲法の起草にかかわり、近代国家をめざして政界で活躍する一方で、実生活は常に大磯にあり続けました。地元大磯には、その気さくな人柄を偲ばせる逸話が、遺品とともに数多く遺されています。

伊藤博文没後100年の節目にあたり、伊藤博文の生涯と多くの業績をたどるとともに、伊藤博文と滄浪閣、そして大磯とのかわりに焦点をあてた展示を開催いたしますので、ぜひご覧ください。また、関連行事も開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

伊藤博文墓所をめぐる史跡ツアー

- と き 11月15日(日) 午前10時～午後2時
- コース 東京都品川区内(現地集合・解散)
JR西大井駅～伊藤博文墓所(通常非公開)～養玉院(大井の大仏)～水神池～品川歴史館～大森貝塚遺跡庭園～JR大森駅(約4km)
- 定員 30人、申込制(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費 500円(資料代、常設展見学代、保険代)
- その他 弁当持参、動きやすい服装、靴

記念上映会

- と き 会期中の毎週土曜日(10月24日はのぞく) 午後2時～4時
- ところ 郷土資料館研修室(入場自由・無料)
- 内容 若き日の伊藤博文を含む長州藩士5人の活躍を描いた映画「長州ファイブ」の上映。

ミュージアム・トーク

- ご希望により学芸員が解説いたします。窓口にてお申し出ください。(会期中随時、無料)

会期中の休館日/毎週月曜日
(11月23日は開館・24日は振替休館)
※10月23日(金)、12月8日(火)は振替休館となります。

記念講演会

- ①11月22日(日) 午後1時30分～3時30分
- 内容 「伊藤博文の生涯－国際化と近代化への挑戦－」
- 講師 京都大学教授 伊藤之雄氏
- ②11月29日(日) 午後1時30分～3時30分
- 内容 「伊藤博文と大磯」
- 講師 京都大学准教授 奈良岡聰智氏
- ①・②とも
- 会場 聖ステパノ学園講堂(海の見えるホール)
- 定員 各回180人、各回申込制(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費 無料

《応募方法》

史跡ツアーと記念講演会は申込制です。往復はがき(1枚に2名まで可)に参加する方全員の住所、氏名、年齢、希望する行事名をお書きのうえ、郷土資料館宛て(〒255-0005 大磯町西小磯446-1 郷土資料館「記念事業」係)にお申込みください。

なお、史跡ツアー、講演会①、講演会②は、それぞれ別々の応募になります。往復はがき1枚で1つの行事のみの受付となりますのでご注意ください。10月24日(土)必着。申込方法は資料館ホームページでもご覧いただけます。

◎問い合わせ 郷土資料館 ☎(61)4700